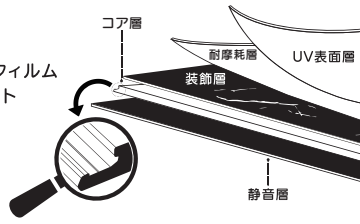


エコストーンフローリングをお買い上げありがとうございます。施工する前にぜひ下記の内容をお読みにになり、正しくご理解の上で使って頂きたいと申し上げます。

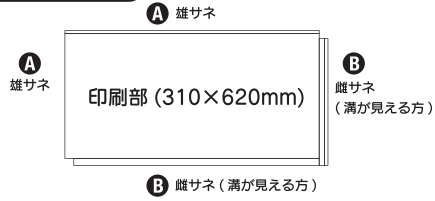
本品及び本品の施工に関する一般的な事項

本品の構造

UV表面層:優れた耐候性・耐汚染のUV塗布  
 耐摩耗層: HARD SYSTEMを採用した透明フィルム  
 装飾層:素材感とデザイン性を持った印刷シート  
 コア層:変形しにくい天然石パウダーとPVC  
 静音層:音を軽減する発泡ポリエチレンシート

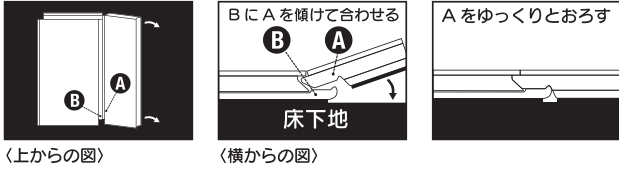


本品のサネ形状



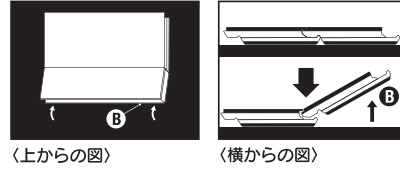
サネ部分の差し込み方

BにAを斜めに傾けながら合わせ、奥まで差し込み、そのままゆっくりとAを下ろします。



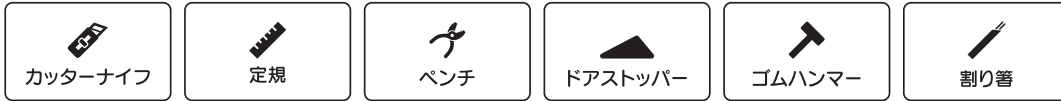
サネ部分の外し方

Bのサネ側をゆっくり持ち上げて外します。



注)無理に外すとサネ部分が割れてしまう場合がありますので、ご注意ください。

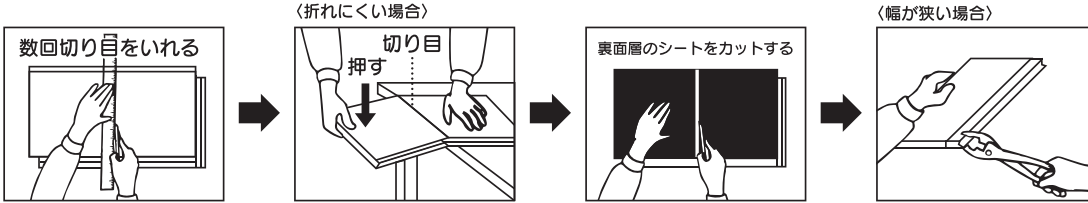
使用する工具



注)①2列目以降のL部位をつなぐとき、斜め差しの角度の保持のためにドアストッパーを使用します。(山の高さ4cm、山の幅3.5cm以上の代用品も可)  
 注)②壁側に約4mmの隙間を作るスペーサー用に身近にある割り箸の厚みを利用します。

カット方法

定規を当てて、カッターナイフで表面に2-3回切れ目を入れ、切れ目を作業台などの角のラインにあてて支点にし、浮いている方を押し下げると折れます。



注)カットする幅が狭く、手で折れない場合は、カッターナイフ切れ目を入れた跡、ペンチまたはフライヤで切り取る部分を挟んで端から少しずつゆっくりと折っててください。

下地の確認・調整

- 木質下地の場合
  - ✓ 床下に十分な通風スペースがあり、地表面が適切な湿気防止剤で覆われていること。
  - ✓ 合板やパネルなどの場合は、平滑であることを確認して下さい。
  - ✓ 下地の表面が平滑でない場合は、その上に丈夫な合板で下地を平滑に調整してください。
- コンクリート下地の場合
  - ✓ 乾燥かつ平滑で、ほこり・ゴミ・油污れ及びその他の異物がないようにしてください。
  - ✓ 新しいコンクリートの場合は、6週間以上養生し、完全に乾燥させてから作業してください。

- 既存の床材の場合
  - ✓ 床材の表面が平滑、乾燥、硬い、きれいな状態であれば、使用できます。

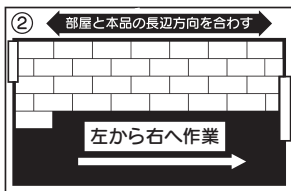
- ◎ 使用可能な床下地: 木質、コンクリート、厚さ2mm以下のクッション性の樹脂系のものなど。
- × 使用不可な床下地: 凹凸の激しい床面、厚さ2mm以上のクッション性のある床面など。

下地を確認し、平滑でない場合は下地調整をしてから作業してください。



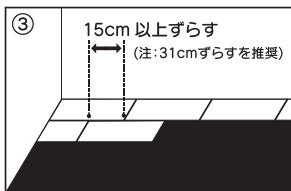
**STEP-1 下地の清掃**

本品を置く面の埃や汚れをきれいに掃除し、充分乾燥させます。平滑ではない箇所は、下地調整をしてください。



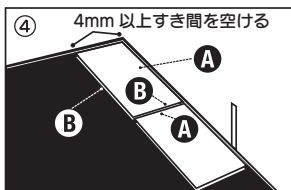
**STEP-2 レイアウトの検討**

部屋の長手方向に本品の長辺を置き、長手方向に何列と短手方向に何枚を使うか、1列目の最後の1枚をカットする長さなどを決め、無駄なく仕上げるように検討してください。前列と次列のつなぎ目は15cm以上、または31cmずらすことも考慮に入れてください。



**STEP-3 仮置き**

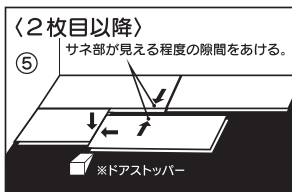
室温10～28℃の環境下で数箱を開封し、一度2～3列ほど仮並べ、色柄を自然に近い配列するようにしてください。  
※本品の向きに注意してください。Bのサネ(サネの溝が見える方)が手前になるように置きます。  
※サネを損傷から守るため、本品を常に水平に置いてください。



**STEP-4 1列目の作業**

1列目は部屋の長手奥の左から右へ短辺のBにAを差し込んでいき、列の最後の1枚は、寸法を確認して本品をカットしてから差し込みます。カットした残りの端材が15cm以上ある場合は、次列の最初に持ち越してください。

※本品の向きにBのサネ(サネの溝が見える方)が手前になっているかを確認してください。  
※短辺のBとAの両端がぴったり揃うように作業してください。  
※1列目完成後に割箸の厚み部分を壁との間にランダムに差し込んで、約4mmの緩衝隙間が形成されます。(温水床暖房の場合は6mm以上)  
※サネ部にゴミや埃が付着していると、隙間ができ、床浮きの原因になりますのでご注意ください。

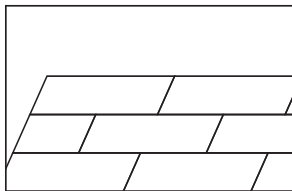
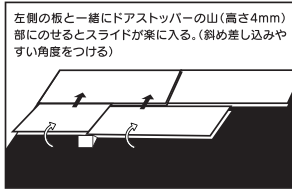


**STEP-5 2列目の作業**

2列目の2枚目以降は、まず、短辺部分を前の列の長辺部分のサネと重ならないように少しズラした位置で1枚目の短辺部分に差し込みます。長辺の差し込み方法は二通りあります。

- ①左側の板と一緒に長辺部分のBのサネを15度ぐらいの角度までゆっくり持ち上げ、前の列の方に押しスライドさせて長辺部分を奥まで差し込んでゆっくりおろします。
- ②ドアストッパーの山を左側の板と一緒に長辺部分のBのサネの下敷きにし、右手で長辺部分のBのサネを前の列の方に軽く押しスライドさせて長辺部分を奥まで差し込んでゆっくりおろします。3列目以降から完成までは2列目と同じ作業の繰り返しとなります。

※奥まで差し込まないと、本品の前列目の長辺部分と作業中の長辺部分との間に隙間が生じ、床浮きの原因になります。床浮きが発生した場合には、次の方法で解消してください。左板の長辺部分と一緒に斜め(15度ぐらい)に持ち上げ、床面にぴったりなるまで少し揺らしながらおろしてください。



**STEP-6 仕上げ作業**

壁と本品との隙間に差し込んだものを全部取り外し、壁側の4mm隙間は巾木に隠れます。必要に応じて、巾木をつけたり、入り口などに段差見切り材を貼りつけたりしてください。

**お手入れ方法**

- 日常のお手入れは、掃除機をかけ、表面を乾拭きまたは固く絞った布で水拭きしてください。
- 汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
- ワックスは密着しない場合がありますので、使用しないでください。

**本品の材質**

塩化ビニル、ポリエチレン(表面)

使用上のご注意

- 作業前は下地をきれいに掃除してください。
- 本品は石材に近い寸法の安定性を持ってありますが、置き敷工法及び物質の膨張・縮小の基本原則を考慮し、作業後の温度や湿度変化などの影響により少し膨張することがあります。必ず作業部位の周囲と壁の間は、4mm以上隙間を確保してください(温水暖房の場合は6mm以上)。7mm以上継いで床面に使用する場合は、1mにつき1mm以上(最低7mm以上)隙間を確保してください。
- 室温が10℃以下の場合は、仕上がり後、本品の膨張によりつなぎ目の突き上げ(床浮き)が生じる場合があります。作業前後及び作業中は室温10～28℃の環境下で作業してください。室温が10℃以下の場合は、暖房器具などで部屋を暖め、作業前後12～24時間は室温を保ってください。
- 同一の柄でも色や柄などが製造ロットの違いに多少異なります。
- 本品の四つの角部のサネを組み合せた場合には、その中心点に重い家具の足に置かれるとサネが割れる恐れがあり、本品を四角いになるよう施工はしないでください。
- 本品は自重により固定されますが、本品を床下地に他の固定材料で固定してしまうと、突き上げ(床浮き)などの原因になります。隙間はシーリング材や接着剤で埋めしないでください。
- 前列と次列のつなぎ目は15cm以上ずらすしてください。ずらさないとなつなぎ目が外れやすくなります。
- 歩行などの使用状況によって、本品がずれる場合があります。特に床の一部に使用する場合は、充分にご注意してください。
- 使用場所によっては、既存の床と本品に段差が生じますので、歩行の際には注意してください。
- 本品をカットする際、手などを切らないように注意してください。
- 本品は重いので、取扱いには十分注意してください。
- 本品は鋭利な固いものを落とすと傷つきます。
- 本品は塩化ビニル製です。廃棄する際は、各自自治体の廃棄方法に従ってください。
- 製品の安全性には充分配慮していますが、体質・体調によっては体調に変化を及ぼすこともあります。化学物質過敏症の方、匂いに敏感な方、体調のすぐれない方は使用しないでください。
- 作業中及び、作業後は原材料のにおいがする場合がありますので、よく換気を行ってください。
- 本品はより良い製品を目指し、予告なく製品の仕様、デザインなどを変更することがあります。

SSJ株式会社

神奈川県横浜市中区桜木町1丁目101番地1クロスゲート7階  
TEL: 045-227-5257

https://ss-jp.co.jp/



ロット No.

MADE IN CHINA